

令和7年4月
開校

自分らしく、
学びたいこと、
追い求めよう。



チャレンジスクール

東京都立立川緑高等学校

SCHOOL GUIDE





チャレンジスクールとは

チャレンジスクールは、三部制（午前部・午後部・夜間部）・総合学科・単位制の定時制高校です。主に小・中学校で不登校経験があったり、高校で中途退学を経験したりして、これまで能力や適性を十分に生かしきれなかった生徒が、自分の目標を見つけ、その目標に向かってチャレンジする学校です。自分のライフスタイルや学習ペースに合わせて三部の各時間帯を選んで入学でき、所属する部以外の単位を修得することや、学校外の学修の単位認定により3年間での卒業も可能です。



本校のスクールミッション

- 地域や関係機関との連携を密に、多様で柔軟な教育活動を展開し、生徒が学ぶ楽しさや意義を見い出します。
- 生徒の個性・居場所・自立を大切にしたキャリア教育を推進し、生徒が自信や意欲を身に付け、社会の一員として自らの力で未来を創り出すことができるよう育成します。



校長挨拶

ようこそ、この学校案内をご覧いただき、ありがとうございます。本校は、多摩地区初のチャレンジスクールとして、令和7年4月に開校します。生徒の【個性】【居場所】【自立】を大切にし、「安心して学べる環境」を前提に、「個々の学びたい思い」「社会につながる学び」を支え、多様で柔軟な教育活動を展開していきます。自分らしい目標に向かってチャレンジしたい、仲間と共に一步踏み出したい、そのような想いをもつ皆さんを心よりお待ちしています。



校長
石田 和仁

チャレンジスクールの特色

- 学力検査や中学校からの調査書によらず、生徒の学習や学校生活への意欲を重視した入試を行います。
- 基礎・基本を重視した学習を行うとともに、生徒が興味・関心をもつことができる多様な選択科目を設置しています。
- ボランティア活動などの体験的な活動を通じて、豊かな人間性を育成します。
- カウンセリングや教育相談の充実など、心のケアに配慮したきめ細かい指導を行います。

マスコットキャラクター 「COICOI(コイコイ)」

学校ができる「錦町」にちなんで錦鯉の妖精の姿をしているよ。となりにいるのは友達のWKWK(ウクウク)です。みんな、学校にCOICOI(コイコイ♪)



生徒の個性・居場所・自立を重視

実践的・
体験的な
学習の充実

専門支援員
による
サポート体制

標準服・制服は
ありません
TPOに応じた身だしなみ
指導を行います。

学校行事などを
生徒と一緒に
作っていきます

授業時間は
1コマ45分間
二学期制

学校外の
学修を
広く単位認定

1クラスの
人数は30人

フォローアップ

キャリア教育

“私らしく学べる”環境を整え、自立を支援

本校は、生徒が「私らしく学べる」学校です。学びを支える様々な仕組みを活用し、自分のペースで学ぶことができます。そして、本校でのキャリア教育「社会につながる学び」をとおして、皆さんが社会の一員として自立していくことをサポートします。



私は、私らしくてOK!
私もあなたも大切に!

個々の学びたい
思いを支える

- 校内別室指導などの授業外の学習支援
- オンデマンド教材を活用した学習支援
- 少人数・習熟度別指導

安心して学べる
環境を提供する

- スクールカウンセラーやユースソーシャルワーカー*による相談機能の充実
- 気軽に相談できる「校内居場所カフェ」の設置
- スクールカウンセラーなどと連携したアセスメントの活用による生徒支援

社会につながる
学びを支える

- 地域と連携したボランティア活動
- 企業等と連携したインターンシップの実施
- 社会体験活動の充実

社会とのつながりを大切にする教育活動

「社会につながる学び」をキャリア教育の柱とし、社会の中で他者と協力し合いながら生きていけるよう、コミュニケーション能力の育成やアウトプットを重視します。特色ある教科や活動において、実践的・体験的な学びを進めるとともに、ボランティア活動やインターンシップなどを単位認定し、皆さんが社会とつながることを後押しします。

本校キャリア教育で育む4つの能力

1. 人間関係形成能力
2. 自己理解・自己管理能力
3. 課題対応能力
4. キャリアプランニング能力

社会につながる学び

教育活動全体

「コミュニケーション能力」の育成 「多様な人々との協働」の促進 「アウトプット」の重視

特色ある 教科

- 「産業社会と人間」……………人間関係づくり、社会的・職業的自立支援教育プログラム
- 「人間と社会」……………共生社会、主権者教育
- 「リテラシー」……………論理言語力の育成
- 「総合的な探究の時間」… 2年次グループ研究、3年次個人研究など

特色ある 活動

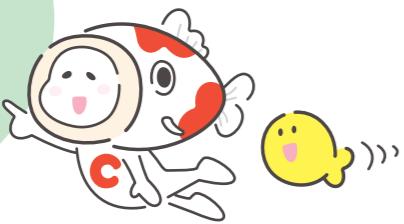
- 「ボランティア活動」「インターンシップ」など

進路希望の実現

社会での自立

教育課程

※内容は変更する可能性があります。



4年間の学び

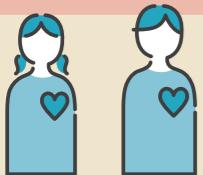
生徒は所属する部の時間帯で、卒業までに必ず学習しなければならない必履修科目の授業を受けます。1~2年次は毎日(月曜日~金曜日)4時間、3年次は毎日2時間、必履修科目の授業があります。その他の時間では、選択科目の授業を受けることができます。必履修科目と選択科目を合わせて74単位以上を修得すると、卒業することができます。

本校は定時制課程の学校であり、4年間での卒業が基本ですが、選択科目の受講や学校外の学修を活用することで、3年間での卒業も可能です。自由選択科目は、総合学科の特徴を生かした様々な科目の中から選択することができます。自分の興味・関心に応じて、自由な時間割を作成することができます。

系列と選択科目

自分の興味・関心に合わせて自由に学べます

本校では、総合学科の特徴を生かした3つの系列を設置します。系列ごとにさまざまな選択科目を設置しますので、自分の興味・関心に応じた時間割を作成することができます。なお、系列を超えて科目を選択することもできます。



生活・文化系列

生活・福祉や文化に関する基礎的な学習・実習をとおして、知識や技術を習得するとともに、思いやりや公共心を養い、社会生活を営む能力や態度を育てます。

科目名

- 保育基礎／服飾手芸／住生活デザイン／フードデザイン／被服／調理／社会福祉基礎／介護福祉基礎／手話／点字 など



アート・デザイン系列

美術やデザインなどに関する基礎的・基本的な学習をとおして、知識や技術の習得や、創造的な表現と鑑賞力を養うとともに、生活を豊かにするために工夫する能力や態度を育てます。

科目名

- 美術I／美術II／工芸I／工芸II／絵画／素描／構成／ビジュアルデザイン／クラフトデザイン／映像表現／ピアノ演習／音楽演習／イラストレーション／陶芸／実用書道 など

必履修科目

科目名

- 現代の国語 ○言語文化 ○地理総合 ○歴史総合
○公共 ○数学I ○科学と人間生活
○[物理基礎・化学基礎・生物基礎] から1つ
○体育 ○保健 ○[音楽I・美術I・書道I] から1つ
○英語コミュニケーションI
○家庭基礎 ○情報I ○総合的な探究の時間

学校必履修科目

科目名

- 論理・表現I ○産業社会と人間 ○人間と社会
○リテラシーA・B ○日本語表現A・B



必履修科目と選択科目を合わせて **74** 単位以上修得すると卒業できます



基本は4年間で卒業。
学び方次第で
3年間で卒業も!

「学校外の学修」による 単位認定

体験的な活動を評価します

学校以外の場における体験的な活動の成果を幅広く評価し、単位認定につなげます。「学校外の学修」によって認定された単位は卒業に必要な単位数に加えることができます。

※「学校外の学修」のみで卒業することはできません。
また、認定できる単位数には上限があります。



人文・自然系列

基礎的・基本的な学習をとおして、幅広い学力を身に付けるとともに、自己の能力・適性を発見し、主体的に学び考え行動する能力や態度を育てます。

科目名

- 論理国語／国語演習／文学に親しむ／日本史探究／世界史探究／倫理／政治・経済／数学II／数学III／数学A／数学B／数学演習／物理基礎／化学基礎／生物基礎／物理／化学／生物／英語コミュニケーションII／論理表現II／英語演習 など



教養科目（系列以外の選択科目）

系列以外の選択科目として、生徒一人ひとりが興味・関心や進路希望に応じて選択することができます。社会につながる学びの中で、学ぶ楽しさや意義を見い出すことができます。

科目名

- 【学び直しの科目】
わかる数学／わかる英語／情報基礎演習
- 【社会生活につながる科目】
ファイナンシャルプラン／美容基礎
- 【興味・関心を深める科目】
フラダンス／レクリエーションスポーツ／トレーニング／CG／茶道／華道／情報システムのプログラミング／コンテンツの制作と発信／ゲーム概論／演劇／声優ナレーション など

「学校外の学修」の例

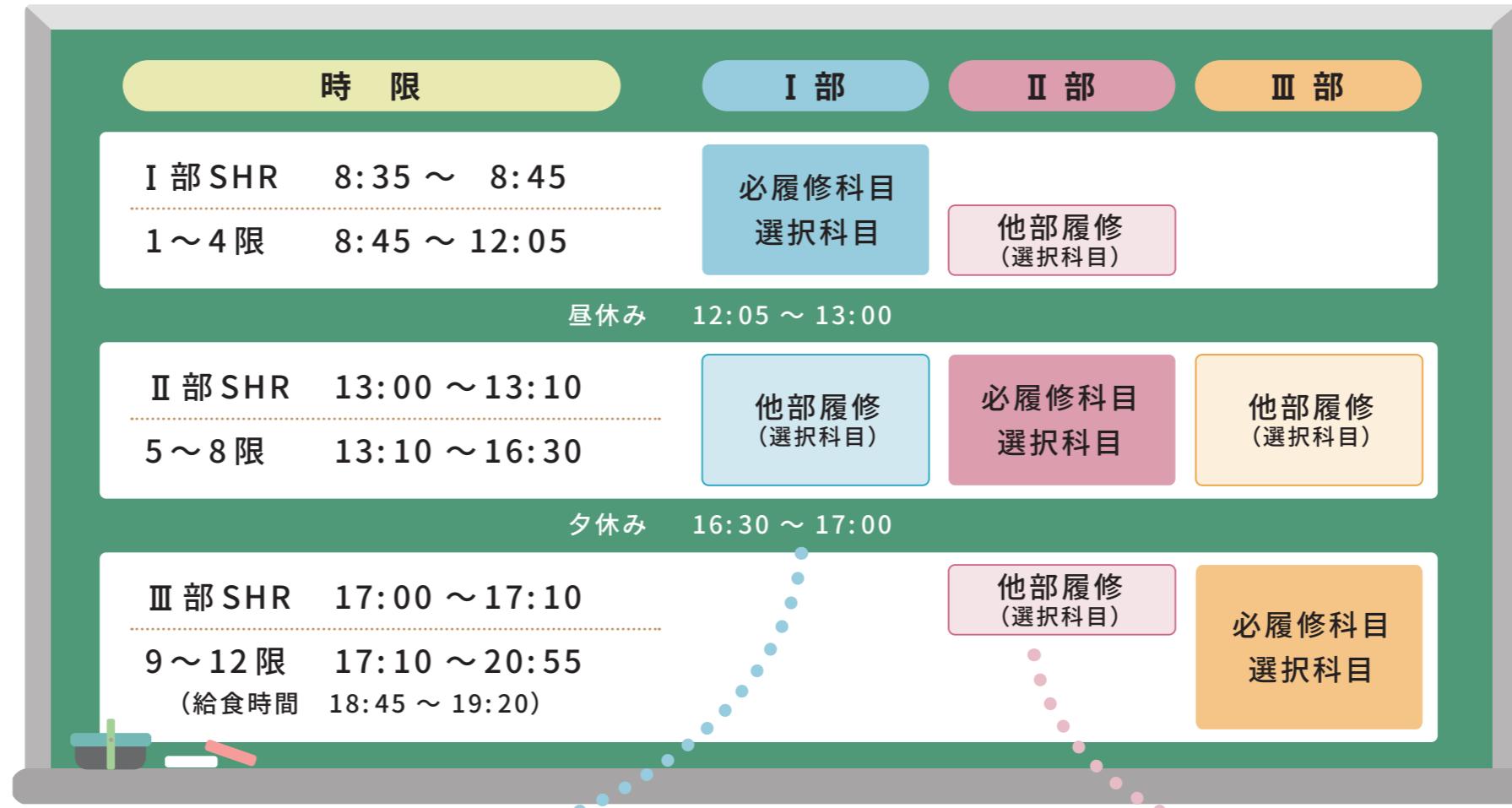
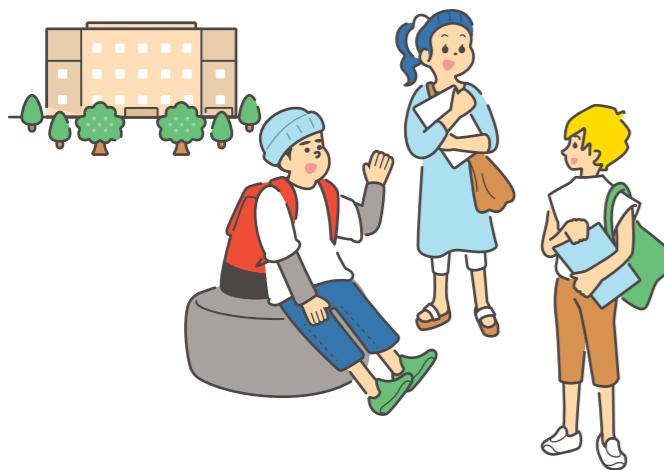
- 日本漢字能力検定・実用英語技能検定・論理言語力検定
- 高等学校卒業程度認定試験・ボランティア活動・インターンシップ
- 社会体験活動・学校間連携（通信制課程の併修を予定）など



ライフスタイルや学習ペースに合わせて選べる三部制

各部の授業時間

本校は三部制ですので、所属する部によって、学校で生活する時間帯が異なります。I部生は午前、II部生は午後、III部生は夜間が主に学校で生活する時間になります。右の図の「他部履修」の時間帯では、選択科目を履修することもできます。

部活動
設置予定部

- バドミントン部
- 卓球部
- 水泳部
- バスケットボール部
- フットサル部
- 美術部
- イラスト部
- ゲーム部
- パソコン部
- 家庭科部

※開校後、生徒の希望を聞きながら部活動の内容を決定していきます。

時間割モデルA

1年次 I部生の場合

	月	火	水	木	金
1限	8:45～	現代の国語	美術Ⅰ	数学Ⅰ	科学と人間生活 リテラシーA
2限	9:35～				保健
3限	10:30～	情報Ⅰ	英語 コミュⅠ	体育	人間と社会 LHR
4限	11:20～				産業社会と人間
5限	13:10～				
6限	14:00～		わかる数学		
7限	14:55～				イラスト レーション
8限	15:45～				

学び直しと
美術の勉強が
したいなら

●修学旅行(3年次) ●ゲーム大会

時間割モデルB

1年次 II部生の場合

	月	火	水	木	金
3限	10:30～				
4限	11:20～	わかる英語			
5限	13:10～				
6限	14:00～	現代の国語	音楽Ⅰ	数学Ⅰ	科学と人間生活 リテラシーA
7限	14:55～				保健
8限	15:45～	情報Ⅰ	英語 コミュⅠ	体育	人間と社会 LHR
9限	17:10～				産業社会と人間
10限	18:00～			新聞を読む	英検対策

英語力をさらに
伸ばしたいなら

学校行事

実施時期は未定ですが、以下の行事も予定しています。

- 修学旅行(3年次)
- ゲーム大会

※地域と連携した楽しい行事を計画中です。



施設紹介

※画像等はすべてイメージです。

新築の校舎で開校

校舎は現在建築中です(令和6年度中に完成予定です)。一期生は新しい校舎で学校生活をスタートします。

図書室

閲覧室は廊下との間に仕切りがなく、立ち寄りやすい空間になっています。図書室内に、教室以外で学べる部屋を用意しています。

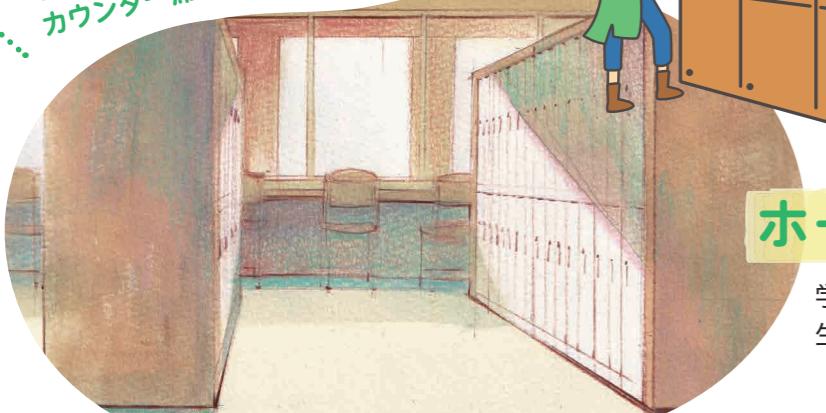


食堂

南側に大きな窓がある明るい空間で、食事をとることができます。



ホームベースの窓側には荷物を整理したり、ちょっと一息ついたりできるカウンター席があります。



ホームベース

学校生活の活動拠点として生徒一人ひとりにロッカーがあります。



ラウンジ

校舎に入るとラウンジが広がっています。先生や友達と気軽に話ができる開放的な空間です。



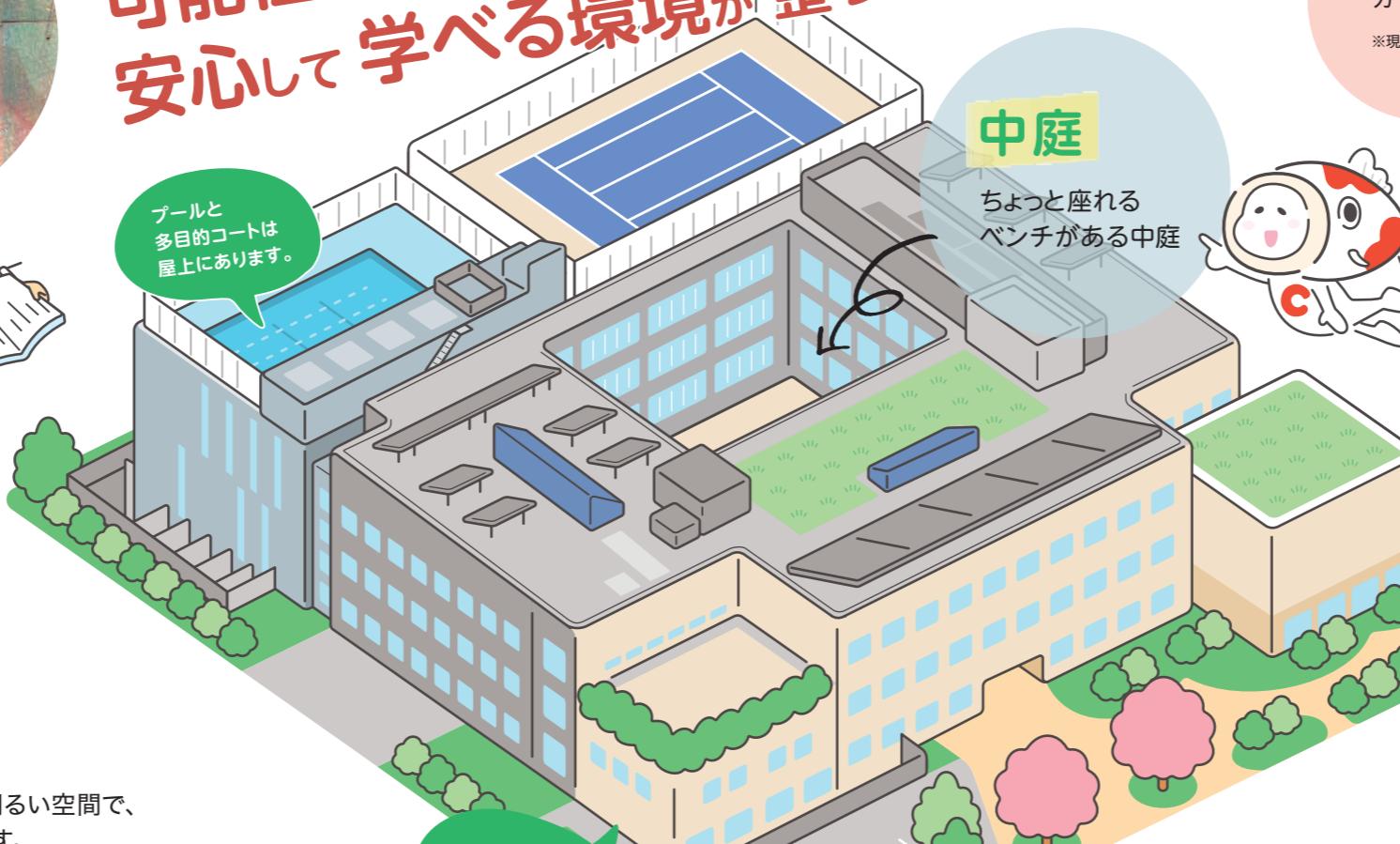
視聴覚室

座席が収納可能で学校行事や発表などいろいろな場面に使います。

可能性を広げ、安心して学べる環境が整っています

中庭

ちょっと座れるベンチがある中庭



ゲームなどでちょっと一息コミュニケーションが広がります。



リフレッシュルーム

リラックス&リフレッシュできるスペースです。



体育館

地下2階から地上2階までの吹き抜けで大きな空間になっています。授業や部活動だけでなく、文化祭や行事など、いろいろな場面に使います。



相談ブースが充実

個別面談ができるガイダンス室・カウンセリング室を多数設置します。

新設校説明会（令和7年度）

※校舎は建築中のため、下記の場所で説明会を実施します。

■令和6年	7月25日(木) 午前・午後	場所 立川合同庁舎・会議室
	8月20日(火) 午前・午後	場所 立川合同庁舎・会議室
	10月15日(火) 午後のみ	場所 立川合同庁舎・会議室
	12月14日(土) 午前・午後	場所 たましん RISURU ホール
■令和7年	1月11日(土) 午前・午後	場所 たましん RISURU ホール
	1月22日(水) 午後のみ	場所 たましん RISURU ホール

●各回の開始時間等の詳細につきましては、ホームページでご案内します。

●参加には事前申し込みが必要です。

申し込みは電子申請システムLogoフォームを利用して行います。申請開始時期は、各回のおおよそ1か月前を予定しています。

アクセス

開校予定地：東京都立川市錦町6-3-1

※お問い合わせ、郵送物等は下記問い合わせ先へお願ひいたします。

【主要駅から最寄り駅までの所要時間】

八王子駅	10分	JR中央線	立川駅
拝島駅	12分	JR青梅線	立川駅
分倍河原駅	9分	JR南武線	西国立駅
玉川上水駅	11分	多摩モノレール	立川南駅

【最寄り駅からの所要時間】

JR立川駅より 徒歩21分

JR西国立駅より 徒歩12分

多摩モノレール立川南駅より ... 徒歩19分



問い合わせ先

立川地区チャレンジスクール開設準備室



〒190-0022 東京都立川市錦町2-13-5 (都立立川高校内)

TEL: 070-3350-2893 (代表)

<https://www.metro.ed.jp/tachikawa-challenge-he/>

